株主のみなさまへ

第195期 事業報告書

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

秩父鉄道株式会社

ごあいさつ

拝啓、平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申しあげます。

第195期の業績および当社グループの取り組みにつきましてご報告申し上げます。

当連結会計年度におきましては、鉄道事業を中心に輸送の安全確保を最優先課題として、計画的に設備の更新や従業員の意識向上等に取組み、その結果として平成29年度も運転無事故を継続することができました。

また、地域公共交通事業者として、沿線地域の活性化に貢献すべく、平成29年４月１日に熊谷市・行田市とともに持田‐熊谷駅間に新駅「ソシオ流通センター駅」を開業した他、熊谷市に所在する立正大学と産学連携に関する包括協定を締結いたしました。

営業活動においては、より一層のサービスの向上を図るとともに、沿線市町や同業他社等とも連携した各種イベントを積極的に実施し収益の確保に努めました。

当連結会計年度の営業収益は5,391百万円（前期比1.7％増）、営業利益は256百万円（前期比2.7％増）、経常利益は233百万円（前期比2.1％増）、親会社株主に帰属する当期純利益は161百万円（前期比66.8％減）となりました。

当期の配当金につきましては、親会社株主に帰属する当期純利益は計上しているものの、会社法に定める配当可能原資を確保できていないことから、誠に遺憾ながら引き続き無配とさせていただきたいと存じます。株主の皆様には、お詫び申し上げますとともに、何卒ご了承賜りますようお願い申し上げます。

今後につきましては、当社グループは、埼玉県北部の公共交通機関として「安全・安心・安定」を維持できる事業者であることが使命であり、輸送の安全、無事故無災害の達成を最優先課題に掲げております。この目的の達成に向け、施設の継続的な整備に加え、公共交通事業者としてその社会的責任と使命を常に意識し、すべてのステークホルダーから信頼される企業であり続けるべく、全役員・従業員が、安全に対し常に意識して業務にあたるように努めてまいります。

平成30年10月には、永田－小前田駅間に新駅「ふかや花園駅」が開業いたします。周辺には大型アウトレットモールの計画もあることから、新たな商業・観光拠点として多くの観光客の流入も期待でき、当社グループにとっても事業環境が大きく変化することも予想されますので、状況を見極めながら対処してまいります。

また、事業環境も年々変化する中、鉄道運賃をはじめとした各種運賃・料金について、事業の採算性をはじめ、多面的な検証を行い、適正な運賃・料金とすることにより、収益の向上を図ることも検討してまいります。

さらに、当社の沿線地域においては、居住人口の減少や少子高齢化の進行により、労働人口の不足による人材の確保も大きな課題となってきます。このため、従業員の生産性向上と教育訓練等の充実を図りつつ「働き方改革」への取り組みも行い、魅力ある会社創りに傾注してまいります。

加えて、平成31年に迎える会社創立120周年を契機として、コーポレートアイデンティティの構築や記念事業を開催し、沿線の魅力を高める施策に自治体や同業他社等と協力して取り組み、多くのお客様に喜んでいただけるように努力してまいります。

敬具

平成30年６月

代表取締役社長　大　谷　隆　男

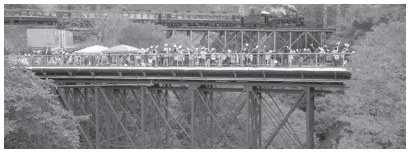
事業の概況

当社グループは、鉄道事業、不動産事業、観光事業、バス事業、その他事業を営み当社と子会社６社で構成されております。
当期におけるセグメント別の事業の概況は次のとおりです。

鉄道事業

鉄道事業におきましては、「輸送の安全確保が最大の使命である」との認識のもと、設備面では引き続きコンクリート枕木化、レールの重軌条化、継電連動装置の更新、踏切道支障報知装置の新設など、安全対策工事を推進いたしました。

旅客部門におきましては、利便性とサービス向上の一環として実施してきた「旅客案内システム（デジタルサイネージ）」の設置工事が完了し、全旅客駅での運用を開始いたしました。



また、新駅の開業やＳＬ列車の運行 30 周年、御花畑駅 － 影森駅の開業 100 周年に伴った記念イベント等を実施したほか、沿線の商業施設や学校等とも連携した企画列車の運行や記念乗車券の発売などを行ない営業増進に努めました。さらに、沿線地域が頻繁にメディアに取り上げられたこともあり、秩父・長瀞地域をはじめ沿線各所に多数のお客様に訪れていただき、定期外旅客人員及び定期外旅客収入は前期に比べ増加いたしました。

一方、定期旅客におきましては、新駅の開業等により通勤定期旅客人員は微増となりましたが、沿線の就学人口の減少等による通学定期旅客人員減少の影響は大きく、定期旅客人員及び定期旅客収入は前期に比べ減少いたしました。

貨物部門におきましては、堅調に推移し、貨物収入は前期に比べ増加いたしました。

営業費用は、安全性を維持するための修繕を行ったほか、電力料金の値上がり等により前期に比べ増加いたしました。

この結果、営業収益は 3,459 百万円（前期比 3.6％増）、営業利益は０百万円（前期比 81.9％の減）となりました。

不動産事業

不動産事業におきましては、駅から近い好立地にある熊谷駅南口駐車場を拡張したとともに、賃貸物件の入居率向上に努め、賃貸収入は前期に比べ増加いたしました。

この結果、営業収益は 368 百万円（前期比 6.6％増）、営業利益は 188 百万円（前期比 3.5％増）となりました。

観光事業

観光事業におきましては、近年、力を入れているエージェントセールスの効果もあり、団体のお客様が増加いたしました。

加えて、積極的にメディアへの対応を行ったことが「長瀞」の知名度の向上に繋がりました。

長瀞ラインくだりでは、お客様の利便性向上策も功を奏し、利用人員は大幅に増加いたしました。

また、宝登山ロープウェイでは、雲海や夕焼け、初日の出等季節の特色を活かした特別便を運行し、宝登山の新たな魅力を発信するとともに、その他の各施設においても年間を通して様々な企画を実施したことにより、営業収入は前期に比べ増加いたしました。

この結果、営業収益は 523 百万円（前期比 11.1％増）、営業利益は 51 百万円（前期比 233.5％増）となりました。

バス事業

バス事業におきましては、貸切バスの稼働が伸びず営業収入は前期に比べ減少いたしました。

営業費用は、車両更新による減価償却費負担増により前期に比べ増加いたしました。

この結果、営業収益は 405 百万円（前期比 7.1％減）、営業利益は３百万円（前期比 89.0％減）となりました。

その他事業

その他事業におきましては、建設業における公共工事の受託等が減少したことにより、営業収入は、前期に比べ減少いたしました。

営業費用は、人件費の減少に加え各事業において経費削減に努め、前期に比べ減少いたしました。

この結果、営業収益は 1,071 百万円（前期比 3.7％減）、営業損失は３百万円（前期は５百万円の損失）となりました。

連結財務諸表

連結貸借対照表の要旨

（単位：千円）

科　　目	当連結会計年度末（平成29年度）	前連結会計年度末（平成28年度）	増減額
（資産の部）			
流動資産	2,476,736	1,918,083	558,652
固定資産	21,692,159	21,689,105	3,053
資産合計	24,168,895	23,607,189	561,706
（負債の部）			
流動負債	4,336,644	3,844,988	491,655
固定負債	8,866,120	8,978,133	△ 112,012
負債合計	13,202,764	12,823,122	379,642
（純資産の部）			
株主資本	547,191	387,329	159,861
資本金	750,000	750,000	―
資本剰余金	21,916	21,916	0
利益剰余金	△ 194,351	△ 355,993	161,642
自己株式	△ 30,373	△ 28,592	△ 1,781
その他の包括利益累計額	10,407,348	10,385,251	22,096
非支配株主持分	11,591	11,485	106
純資産合計	10,966,131	10,784,067	182,063
負債純資産合計	24,168,895	23,607,189	561,706

＊　記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

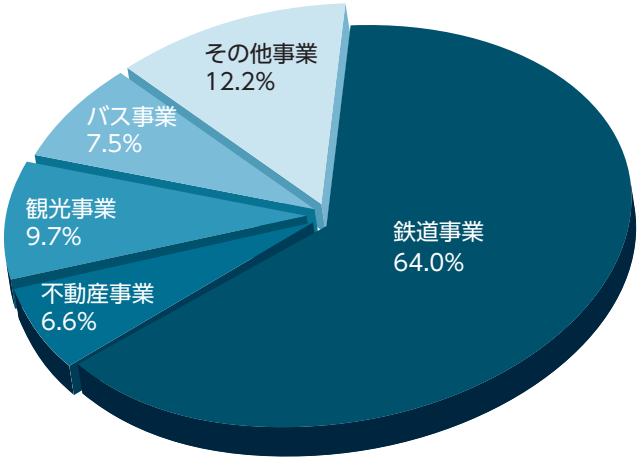
連結損益計算書の要旨

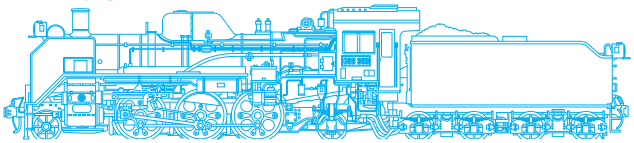
（単位：千円）

科　　目	当連結会計年度（平成29年度）	前連結会計年度（平成28年度）	増減額
営業収益	5,391,829	5,303,334	88,495
営業費	5,135,746	5,054,039	81,706
営業利益	256,082	249,294	6,788
営業外収益	38,847	53,202	△ 14,355
営業外費用	61,769	74,156	△ 12,386
経常利益	233,160	228,340	4,819
特別利益	530,025	686,748	△ 156,722
特別損失	534,907	479,706	55,200
税金等調整前当期純利益	228,278	435,382	△ 207,103
法人税、住民税及び事業税	43,298	73,079	△ 29,781
法人税等調整額	23,555	△ 124,194	147,749
当期純利益	161,425	486,497	△ 325,071
非支配株主に帰属する当期純利益	99	82	17
親会社株主に帰属する当期純利益	161,325	486,415	△ 325,089

＊　記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

セグメント別営業収益構成比





連結株主資本等変動計算書

（単位：千円）

科　　目	当連結会計年度（平成29年度）	前連結会計年度（平成28年度）
株主資本		
当期首残高	387,329	△ 98,906
当期変動額		
親会社株主に帰属する当期純利益	161,325	486,415
自己株式の取得	△ 1,781	△ 261
自己株式の処分	0	82
土地再評価差額金の取崩額	316	—
当期変動額合計	159,861	486,236
当期末残高	547,191	387,329
その他の包括利益累計額		
当期首残高	10,385,251	10,342,766
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	22,096	42,485
当期変動額合計	22,096	42,485
当期末残高	1,047,348	10,385,251
非支配株主持分		
当期首残高	11,485	11,351
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	106	133
当期変動額合計	106	133
当期末残高	11,591	11,485
純資産合計		
当期首残高	10,784,067	10,255,211
当期変動額		
親会社株主に帰属する当期純利益	161,325	486,415
自己株式の取得	△ 1,781	△ 261
自己株式の処分	0	82
土地再評価差額金の取崩額	316	—
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	22,202	42,619
当期変動額合計	182,063	528,855
当期末残高	10,966,131	10,784,067

＊　記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

個別財務諸表

個別貸借対照表の要旨

（単位：千円）

科　　目	当会計年度末（平成29年度）	前会計年度末（平成28年度）	増減額
（資産の部）			
流動資産	1,987,938	1,368,704	619,233
固定資産	21,261,182	21,289,823	△ 28,641
資産合計	23,249,120	22,658,528	590,592
（負債の部）			
流動負債	4,027,929	3,496,118	531,811
固定負債	8,716,080	8,854,561	△ 138,480
負債合計	12,744,010	12,350,680	393,330
（純資産の部）			
株主資本	230,447	46,242	184,204
資本金	750,000	750,000	—
資本剰余金	14,108	14,108	0
利益剰余金	△ 503,287	△ 689,273	185,985
自己株式	△ 30,373	△ 28,592	△ 1,781
評価・換算差額等	10,274,663	10,261,605	13,057
純資産合計	10,505,110	10,307,848	197,261
負債純資産合計	23,249,120	22,658,528	590,952

＊　記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

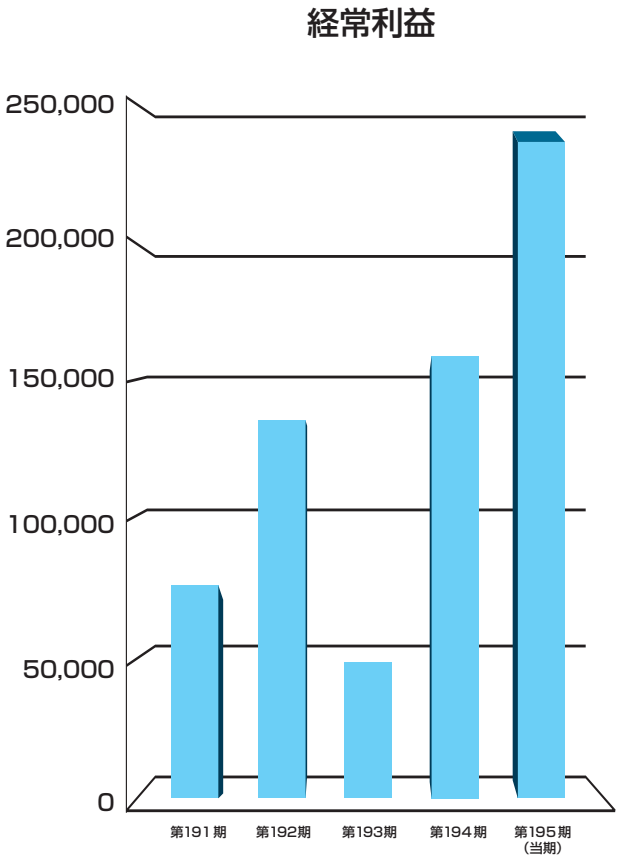
損益計算書の要旨

（単位：千円）

科　　目	当会計年度（平成29年度）	前会計年度（平成28年度）	増減額
鉄道事業			
営業収益	3,459,968	3,338,415	121,553
営業費	3,458,875	3,336,387	122,488
営業利益	1,093	2,028	△ 934
不動産事業			
営業収益	368,423	345,769	22,653
営業費	179,629	163,379	16,249
営業利益	188,794	182,390	6,403
観光事業			
営業収益	370,015	332,452	37,563
営業費	339,695	321,780	17,914
営業利益	30,320	10,672	19,648
全事業営業利益	220,207	195,090	25,117
営業外収益	97,517	55,431	42,085
営業外費用	75,673	99,073	△ 23,400
経常利益	242,051	151,447	90,604
特別利益	526,083	754,109	△ 228,026
特別損失	526,273	479,689	46,583
税引前当期純利益	241,862	425,867	△ 184,005
法人税、住民税及び事業税	28,580	48,135	△ 19,555
法人税等調整額	27,296	△ 112,384	△ 139,680
当期純利益	185,985	490,117	△ 304,131

＊　記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

個別経常利益推移表



株主資本等変動計算書

(単位：千円)

科　　目	当会計年度 (平成29年度)	前会計年度 (平成28年度)
株主資本		
当期首残高	46,242	△ 443,695
当期変動額		
当期純利益	185,985	490,117
自己株式の取得	△ 1,781	△ 260
自己株式の処分	0	81
当期変動額合計	184,204	489,938
当期末残高	230,447	46,242
評価・換算差額等		
当期首残高	10,261,605	10,274,967
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	13,057	△ 13,361
当期変動額合計	13,057	△ 13,361
当期末残高	10,274,663	10,261,605
純資産合計		
当期首残高	1,037,848	9,831,271
当期変動額		
当期純利益	185,965	490,117
自己株式の取得	△ 1,781	△ 260
自己株式の処分	0	81
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	13,057	△ 13,361
当期変動額合計	197,261	476,577
当期末残高	10,505,110	10,307,848

＊　記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

ソシオ流通センター駅開業

4月1日（土）熊谷－持田駅間に36駅目の旅客駅となる「ソシオ流通センター駅」が開業いたしました。

今後は、流通センターへの通勤が便利になる効果や、宅地開発の追い風となり、通勤や通学の利便性が向上される効果が期待されます。また、開業に伴い、記念乗車券・入場券の販売やハイキングイベント等実施いたしました。

SL運行30周年&御花畑駅・影森駅開業100周年記念乗車券・入場券発売

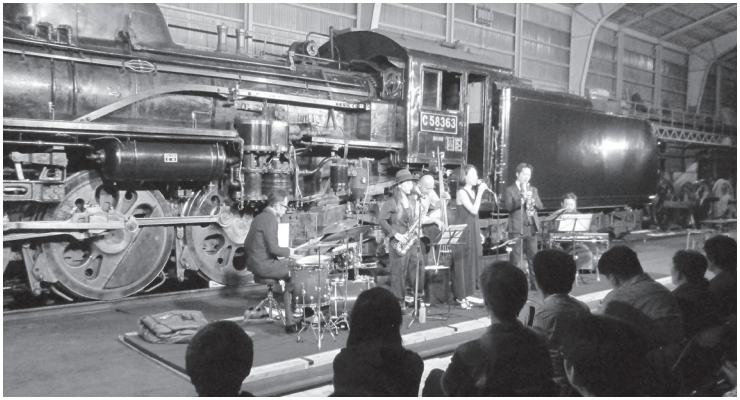
ＳＬパレオエクスプレス運行30周年および御花畑駅・影森駅が開業100周年を迎えたことを記念して、絵本付乗車券など記念乗車券や記念入場券を発売いたしました。

SL運行30周年&御花畑駅・影森駅開業100周年記念イベント開催

ＳＬパレオエクスプレスは昭和63年熊谷市で開催された「さいたま博覧会」の開催を記念して運行が開始され、2017年度で30周年を迎えた他、御花畑駅・影森駅は大正６年9月開業以来100周年を迎え、9月17日は、秩父市出身の林家たい平師匠による特別寄席、11月4日は「ちちてつマルシェ」など年間を通じてイベントを開催いたしました。

パレオでランチ!!&企画列車の運行

ＳＬパレオエクスプレス客車内の一部ボックス席にテーブルを仮設しイタリアンランチや和食などお食事を楽しめる特別列車や沿線の商業施設、学校とも連携した企画列車を運行いたしました。



広瀬川原ジャズコンサート

10月14日に普段入ることができない車両基地の検修庫内で、ジャズ演奏を楽しむことができるほか、お酒やおつまみも販売し、ゆっくりと過ごすことができるイベントを実施いたしました。SLパレオエクスプレスをバックに検修庫で響き渡る、「Ａ列車で行こう」を始めとするＪＡＺＺのヒットナンバーをお楽しみいただきました。

PALETTE(パレット)創刊

秩父鉄道沿線の観光情報・イベント情報をよりわかりやすく魅力的に発信できるよう、「秩父鉄道ニュース」は、2017年11月号から新冊子『PALETTE(パレット)』としてリニューアルいたしました。

＊『PALETTE(パレット)とはSLパレオエクスプレスの「パレ」、絵の具の「パレット」』

観光事業

各施設でシーズンに合わせた様々な企画を実施し、お客様をお迎えいたしました。

長瀞ラインくだりでは季節毎のキャンペーンや毎月16日(トロの日)に乗船された女性のお客様先着30名へのプレゼントを実施いたしました。

また、宝登山山頂には四つ葉のクローバーをテーマとした「宝登山フォーリーフガーデン」をオープンした他、宝登山小動物公園ではイースター「エッグハント」「世界のカブトムシ展」等のイベントを開催いたしました。

有隣倶楽部・ガーデンハウス有隣では四季折々のメニューを考案し、多くのお客様にご利用いただきました。

宝登山ロープウェイでは、「初日の出鑑賞便」や「夕焼け鑑賞便」等の特別運行を行なうなど宝登山の新たな魅力を発信いたしました。

証券会社に口座をお持ちでない株主さまへ

株券電子化（平成21年1月5日実施）の際に、証券会社等の口座で当社株式を管理されていなかった株主さまの株式は、当社が日本証券代行株式会社に開設した特別口座で管理されています。

「特別口座」で管理されている株式を譲渡する場合は、特別口座と同一の名義で開設されている証券会社等の一般口座へ振替を行う必要があります。将来の株式譲渡をスムーズに行えるように、あらかじめ特別口座から一般口座に振替えておくことをお勧めします。

特別口座からの振替のご案内

日本証券代行 特別口座	特別口座で管理する株式を譲渡するためには、あらかじめ株主さまご自身名義の証券会社等の一般口座へ振替えておく必要があります。
証券会社 口座開設	証券会社に口座をお持ちでない場合は、株主さまご自身で証券会社に口座開設を行ってください。
口座振替申請書 提出	日本証券代行へ口座振替申請書を請求し、必要事項をご記入、届出印を押印のうえ、口座振替申請書を日本証券代行にご提出ください。
特別口座から 証券会社口座へ 振替	口座振替は、1週間程度かかります。
証券会社口座	口座振替完了後は、株式のスムーズな譲渡が可能になります。

単元未満株式の買取・買増制度のご案内

【単元未満株式の買取請求・買増請求について】

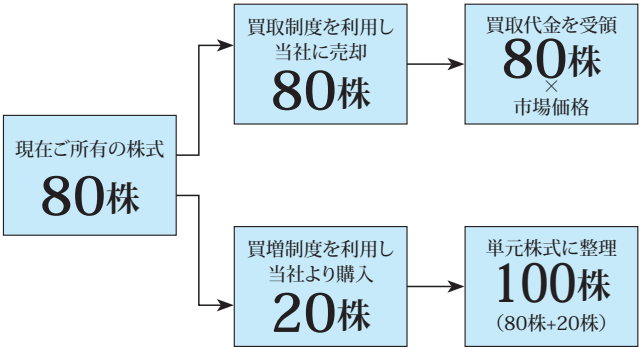
当社の単元株式数は、100株ですので、100株未満の単元未満株式は市場で売買することができません。

当社では、「買取請求制度」「買増請求制度」を用意しておりますので、ぜひお手続きくださいますようご案内いたします。

買取制度

ご所有の単元未満株式を当社に買取るよう請求できる制度です。

（例）当社株式を80株ご所有の場合、その80株を市場価格で当社に売却し、代金を受領する。



買増制度

ご所有の単元未満株式を1単元（100株）の株式にするために必要な株式を買増すことを当社に請求できる制度です。

（例）当社株式を80株ご所有の場合、20株を市場価格で当社から購入し、100株にする。

特別口座・単元未満株式の処理についてお問合わせ下さい。

日本証券代行　代理人部　（平日9:00～17:00）

0120-707-843

役員・株主メモ

役　員　（平成30年6月27日現在）

代表取締役社長	大谷隆男
取締役	赤岩一男
取締役	髙柳　功
取締役	中山高明
常勤監査役	村田光明
監査役	根津泰生
監査役	安武修二

株主メモ

事業年度	毎年４月１日から翌年３月３１日まで
定時株主総会	６月
基準日	
定時株主総会	毎年３月３１日
期末配当金	毎年３月３１日
中間配当金	毎年９月３０日
株主名簿管理人	日本証券代行株式会社
同事務取扱所	東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号 日本証券代行株式会社　本店
（郵便物送付先 お問い合わせ先）	〒168-8620 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 日本証券代行株式会社　代理人部 0120-707-843（フリーダイヤル） 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の全国本支店においても行っております。
公告方法	東京都において発行する日本経済新聞
単元株式数	100株
皆様へのお願い	住居表示の変更・ご転居の際は、郵便物が間違いなく届きますよう、お早めに上記株主名簿管理人にお手続きください。
ホームページ	http://www.chichibu-railway.co.jp ※（鉄道ニュースやイベント情報がご覧いただけます。）

株主優待制度

毎年３月３１日の最終の株主名簿に記録された株主さまに対して、その所有株式数に応じて次のとおり優待乗車証・優待割引券を発行いたします。

1．優待乗車証（定期券式）

ご所有の株式数に応じまして、優待乗車証を発行いたします。

ご所有株式数	乗車証の種類	発行枚数
1,500株以上 2,100株未満	当社電車全線優待乗車証	1枚
2,100株以上	当社電車全線および・索道 （宝登興業株式会社 宝登山ロープウェイ） 全線優待乗車証	1枚

※有効期間・・・６月１日から１ヵ年間（５月下旬発送）

2．優待乗車証（回数券式）

ご所有の株式数に応じまして、優待乗車証を発行いたします。

ご所有株式数	発行枚数
100株以上300株未満	2枚
300株以上500株未満	4枚
500株以上1,000株未満	6枚
1,000株以上	10枚

※有効期間・・・７月１日から１ヵ年間（6月下旬発送）

3．優待割引券

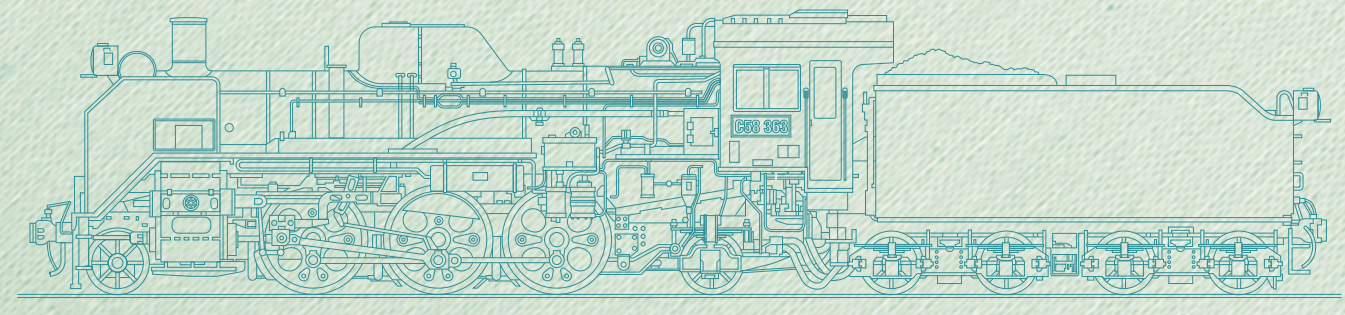
ご所有株式数100株以上で、優待割引券を発行いたします。

施設名	発行枚数
宝登山小動物公園	特別入園券　５枚
長瀞ラインくだり	50％割引券 各５枚
有隣倶楽部お食事代（飲み物は除く）	
ガーデンハウス有隣お食事代 （飲み物は除く）	
秩鉄タクシー株式会社	運賃200円割引券 ５枚

※有効期間・・・７月１日から１ヵ年間（６月下旬発送）

秩父鉄道株式会社

〒360-0033　埼玉県熊谷市曙町一丁目1番地

TEL　048-523-3311(代表)

URL　http://www.chichibu-railway.co.jp